

第8期介護保険事業計画の実施状況

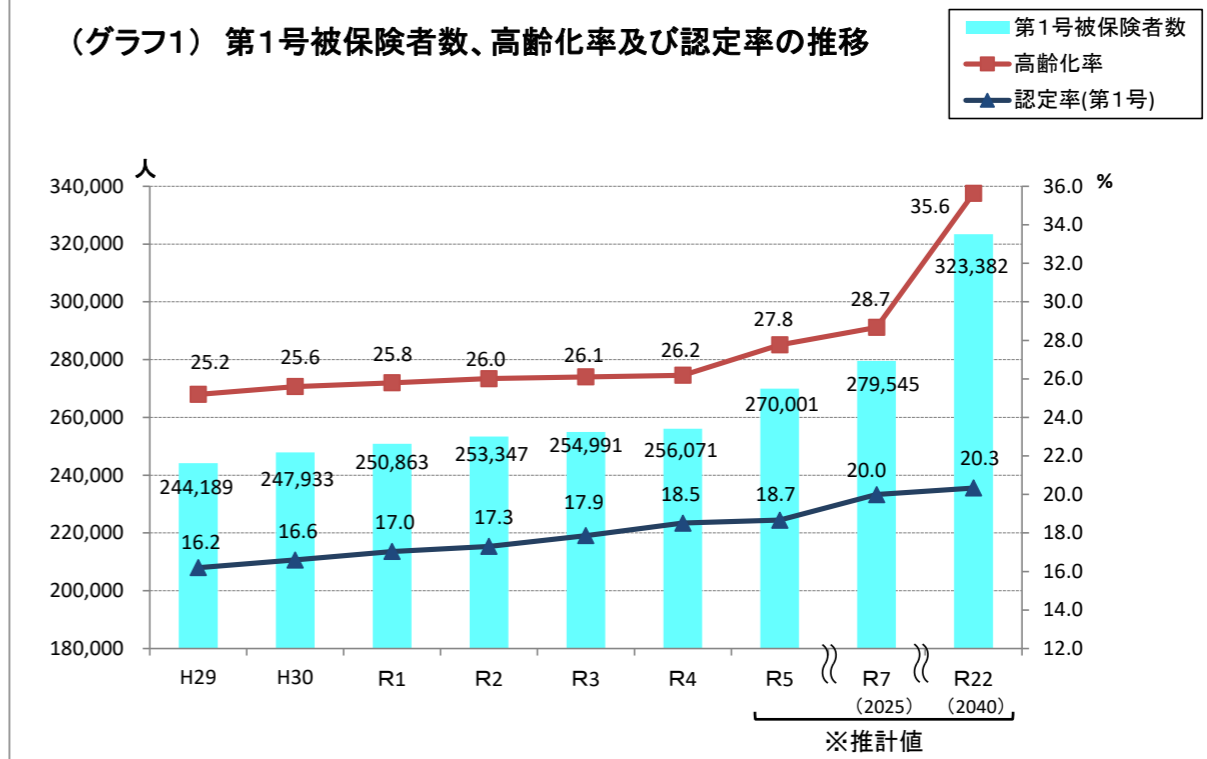
高齢者人口、認定者数等

- 第1号被保険者(65歳以上)数は、令和4年度で約25万6千人となり、前年度から約1千人増となった。高齢化率については、人口も約1千人増えたため、26.2%と前年度からの大きな変動はなかった。なお、団塊の世代が75歳以上となる令和7年度には、高齢化率は28.7%に達する見込みである。(グラフ1参照:上の折れ線)
- 要介護認定率は、年々上昇しており、令和4年度は前年度比0.6ポイント増の18.5%となった。令和7年度には20.0%になると見込まれる。(グラフ1参照:下の折れ線)
- サービス利用者数は、41,205人で、前年度比1,568人増であった。保険給付費については、要介護認定者数の増に伴い、前年度から約29億円増加し、約710億円となった。また地域支援事業費は、要支援認定者が微増であったため、約1億円の増に留まった。

計画項目			令和3年度	令和4年度				令和5年度		
			実績 A	計画 B	実績 C	C/A	C/B	計画		
人口	9月末	人	976,784	973,355	977,823	100.1	100.5	972,490		
第1号被保険者数		人	254,991	267,845	256,071	100.4	95.6	270,001		
高齢化率		%	26.1	27.5	26.2	(+0.1)	(-1.3)	27.8		
要介護認定者数	9月末	人	要支援1	7,293	7,397	7,533	103.3	101.8	7,739	
			要支援2	5,159	5,304	5,161	100.0	97.3	5,552	
			要介護1	11,901	12,585	12,599	105.9	100.1	13,241	
			要介護2	6,706	7,205	6,820	101.7	94.7	7,586	
			要介護3	5,976	6,184	6,207	103.9	100.4	6,527	
			要介護4	5,635	5,911	5,970	105.9	101.0	6,245	
			要介護5	3,906	4,264	4,178	107.0	98.0	4,492	
			合計	46,576	48,850	48,468	104.1	99.2	51,382	
			うち、第1号被保険者認定者数	45,552	47,883	47,398	104.1	99.0	50,407	
認定率(1号のみ)	9月末	%	17.9	17.9	18.5	(+0.6)	(+0.6)	18.7		
サービス利用者数	10月利用	人	住宅	34,366	35,243	35,745	104.0	101.4	37,110	
			施設	特養	3,500	3,786	3,563	101.8	94.1	4,026
				老健	1,549	1,515	1,587	102.5	104.8	1,415
				療養	3	3	3	100.0	100.0	3
				医療院	132	400	223	168.9	55.8	520
				地域密着特養	87	87	84	96.6	96.6	87
			小計	5,271	5,791	5,460	103.6	94.3	6,051	
合計	39,637	41,034	41,205	104.0	100.4	43,161				
給付費	年度計	百万円	住宅サービス費	47,216	49,837	49,363	104.5	99.0	52,820	
			施設サービス費	17,483	20,117	18,320	104.8	91.1	21,140	
			その他	3,403	3,209	3,289	96.7	102.5	3,372	
			小計	68,102	73,163	70,972	104.2	97.0	77,332	
地域支援事業費										
合計	2,976	4,113	3,081	103.5	74.9	4,260				
合計	71,078	77,276	74,053	104.2	95.8	81,592				

- (注) 1 人口及び高齢化率の実績値は住民基本台帳(9月末)による。計画値は千葉市将来推計人口による。
 2 認定率は、「第1号被保険者の要介護(要支援)認定者数÷第1号被保険者数」で算出。
 3 サービス利用者数の「住宅」には地域密着型サービス利用者(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(地域密着 特養)を除く。)を含む。
 4 給付費の「その他」は、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費等、高額医療合算介護サービス等費、及び審査 支払手数料の合計額。

(グラフ1) 第1号被保険者数、高齢化率及び認定率の推移



※高齢化率の実績値は住民基本台帳(9月末)による。計画値は千葉市将来推計人口による。
 ※2025年: 団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)となる。
 ※2040年: 団塊ジュニア世代が65歳以上となる。

(グラフ2) 認定者数、サービス利用者数及び事業費の推移

